大きなけやきの木の下で　絵本のはなしをしましょうよ。



2026 年　７月の中ごろ　こまばようちえん

みなさま、こんにちは！

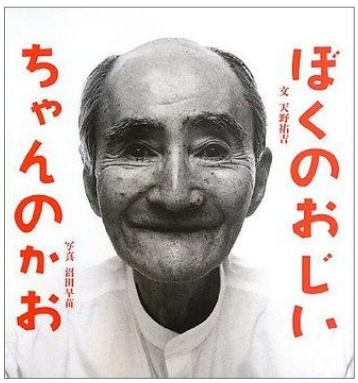
園庭のさくらの木の枝がだいぶ傾いできたので、木への負担を軽くするために枝を少し切りました。ジャングルジムが、木陰がなくなったと文句をいっているかも。それとも、空がよく見えるようになって嬉しいなと言っているかな。

もうすぐ夏休み。いろんな絵本と出会ってみてくださいね。紙芝居を１対１で演じてみるのも楽しいですよ。図書館で舞台を貸し出してくれると思います。

今回は夏休み目前号ということで、ボリュームたっぷりとなっています！

では、大きなけやきの木の下で、絵本のはなしをいたしましょう。

① たんぽぽ組・年少組のみなさんに。



●『ぼくのおじいちゃんのかお』
　天野祐吉・文　沼田早苗・写真　福音館書店　1992 年/重版未定

おじいちゃんは、俳優の加藤嘉さんです。文を書いた天野祐吉さんはコラムニスト。「広告」を社会の深層を捉える鏡として批評した伝説的な雑誌『広告批評』の主宰者です。その天野さんがこの絵本で書かれた 150 字ほどの文章は、さら

りとしていてなんか、面白い。夏休み、ふだん会えないおじいちゃん、おばあちゃんと会う機会もあると思います。「ぼくのおじいちゃんのかおもおもしろい！」って思うかもしれませんね。

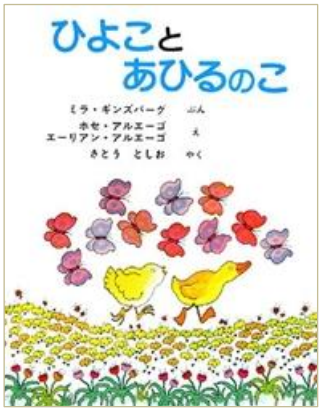
※加藤嘉さんは 1988 年に 75 歳で亡くなられました。いぶし銀の名脇役でした。天野祐吉さんは 2013 年に 80 歳で亡くなられました。私もテレビでコメンテーターとして出演している姿を記憶しています。（須藤）



●『みっちりつぶつぶ　とうもろこし』
いわさゆうこ　・作（童心社）　2025 年/1320 円

表紙のとうもろこし、迫力満点！思わずかじりつきたくなります。タイトルに「みっちりつぶつぶ」と付けたのも素晴らしい。作者のとうもろこし愛が伝わります。最初のページ、「みどりのふくをなんまいもきてる　いちまい　いちまい　ぬがせてみよう　つぶつぶ　みえてきた！」。この出だしの文章、期待が高まってきます。そしてとうとう、「みっちりつぶつぶ　こがねいろ！」のとうもろこしさまがドーンと登場します。そして、どうやってできたのかを丁寧に分かりやすく説明していきます。粒ひとつひとつにヒゲが一本ずつ伸びている絵は、改めて「へえー。すごい・・」とため息ついてしまいます。

とうもろこしを食べたくなる絵本。いえいえ、ぜひとも食べてください。「おいしい茹で方」も書かれています。（須藤）



●『ひよことあひるのこ』
ミラ・ギンズバーグ ぶん　ホセ・アルエーゴとエーリアン・アルエーゴ・え
さとう としお・訳　(アリス館)　1983 年/1430 円(重版未定)

絵本を開いてすぐの扉絵から、この物語は始まります。それぞれ羽の下に卵を抱き温めている二羽のお母さん鳥。ところが卵が孵化する直前に、親鳥たちはちょうちょに気をとられ、卵をほったらかしにしてしまいます。自力で孵ったあひるのこは「ぼく、でたぞ！」続いてひよこも「ぼくも」。あひるのことひよこは散歩に出かけた先で、穴ほりしたり、みみずを見つけたり。その度に、あひるのこが先がけてはうまく立ち回り、ひよこは「ぼくも」とまねっこします。ある日、「ぼく　およげるぞ」とあひるのこが池に飛びこみました。「ぼくだって！」とひよこも続けて飛びこむのですが…。

シンプルで楽しいおはなしながら、実はとても奥深いおもしろさが詰まっていると思います。人生に必要なことを、遊びの中でつかみとっていくかのようなひよことあひるのこは、まさに人間の子どもそのもの。それにしても、ラストページのあひるのこの表情といったら。(近藤)



●『ありさん　どうぞ』
中村 牧江 さく　林 建造 (大日本図書) 2009 年/1320 円

5 歳の孫は今、虫捕りに夢中です。本人としては、大きなちょうちょやバッタ

を(華麗に？)捕りたいと望んではいても、この都会生活ではその切実な希望がなかなか果たせない…代わりにもっぱらその望みを引き取り、つないでくれているのが「アリ」や「ダンゴムシ」。２～３歳の頃は虫全般をひどく怖がっていたことを考えると、周りからのよい影響や、いつもすぐそばにいてくれる虫たちに、ひたすら感謝です。

さて、表紙がショッキングピンクのこの絵本。１匹のアリさんが上機嫌で獲物を口にくわえています。ページをめくるごとに、ああなんてわかりやすく楽しいこと。アリ特有の“ありのぎょうれつ”を興味深く目撃することができます。簡潔でリズミカルな言葉と、白の余白を最大限に活かす単純明快な絵。作品世界の楽しさに加え、その計算し尽くされた構成にもうなります。

ところで、アリの行列を観察したことがありますか？大昔に感じたあの静かな興奮を、もう一度味わいたくなりました。もちろんアリの行列に限りませんが、親子で“センス・オブ・ワンダー”が共有できる夏になるといいですね。
(近藤)

② **年中・年長組のみなさんに。**



●『ならんでみせます！』
はしもとえつよ　作　(BL 出版) 2025年/１７６０円

作者のはしもとえつよさんには、私もアンソロジーのお話に絵を描いていただいたことがあります。垢抜けたユーモアを感じさせてくれる画風に魅力を感じています。この絵本はナンセンス絵本ですが、ちゃんと交通ルールも教えてくれます。横断歩道の白線をキャラクター化するなんて、すごい発想。白線たちはシフト制になっていて仕事が終わったら、お風呂に入ります。「ガムがくっついた」「犬にくんくんされた」と言いながら。横断歩道の仕事の大変さにも共感します。ある日のこと、横断歩道を渡らない子がいたことに、白線たちはショックをうけて、自分たちの仕事に自信をなくします。他に何ができるのかと小学校に行って試してみるのですが、うまくいかず……。さあ、どうなるのでしょう。

見返しの白線一人一人の性格も面白いですよ。（須藤）



●『あかにんじゃ』
穂村弘・作　木内達朗（岩崎書店）2012 年/1430 円

こちらもナンセンス、です。私は毎日、愛犬と散歩をしながら短歌を作ります。独学でメチャクチャなのですが、楽しんでいます。この絵本の作者は穂村弘さん。歌人です。この方監修の「はじめての短歌　いい短歌の正体とは。」を新聞の書評で知ったのをきっかけに、この絵本に辿り着きました。（前置き長くてすいません）

赤忍者は真っ赤な忍者。目立ちすぎるだろう、と思ったらやっぱり目立って「くせものー」と追い詰められる。「あぶない！」と思ったとたん、普通なら忍術で逃げるのでしょうが、この絵本は違う。赤忍者は赤ガラスになって逃げてしまうのです。こんな風に、「あぶない！」の次に、ちょうちょや赤いおじさんなどに変身して難を逃れます。最後は、言いたいけど言いません。ぜひ、絵本で確かめてください。（須藤）

（おまけ）　「おいしいトマトになあれ！」

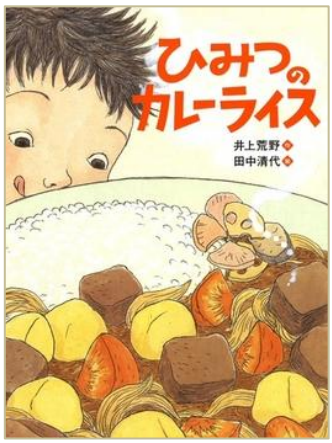


すとうあさえ・作　はせがわかこ・絵　ひかりのくにオールリクエスト７月号（2026）

私の孫のあっくんが３歳の時に弟が産まれました。保育園に通っていました。突然母親が早産の危険があるということで入院することになり、私があっ

くんを引き受けることになりました。あっくんは不安でいっぱいだったと思いますが、「かあさん」という言葉は一度も出ませんでした。でも一度だけ「不思議の国のアリス」のアリスのフィギュアを見て「かあさん」と言いました。このことが深く印象に残っています。

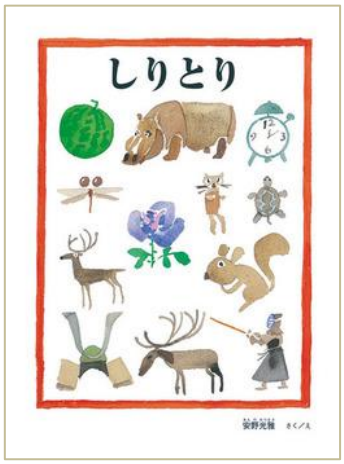
この絵本の主人公は４、５歳。あっくんより大きい子を想定しました。トマトのエピソードも新しく考えたものです。けれども、３歳のあっくんの心情を重ねて書きました。この絵本は保育絵本なので市販されていません。私から３冊園に寄贈しました。読んでいただけたら嬉しいです。（須藤）



●『ひみつのカレーライス』
井上 荒野　作　田中 清代　絵（アリス館）2009 年/1540 円

フミオはカレーライスが大好き。ある日、家族みんなでカレーを食べていると、フミオの口の中で「かりっ」と音が。お父さんが書物でいっぱいの書斎で見つけた本によると、それは、「よにもめずらしいカレーのたね」でした！さあ、その日から家族総出でカレーの木を育てることに。カレーの木は、無事に、おいしい「カレーの実」と「ライスの実」をつけてくれるでしょうか？

カレーの木が大きくなる様子に、最初から最後までワクワクドキドキ。フミオの両親の浴衣やかっぽう着、縁側からの風景など、昭和初期のような雰囲気をまとっているのもなんだかおかしい。読み終わったころには、フミオの家に押しかけたご近所さんたちのように、むしょうにカレーが食べたくなること請け合いです。「♪カレースキスキ　カレーノタネガ・・・　ポロコリ　ペリコル　ピリカラ　ホイ！　トンコロリンノ　ギューマッハ　トリトリンノ　ホイ！・・」ちょっとクセが強めな歌と踊りも極上の楽しさです（笑）。（近藤）



●『しりとり』
　安野 光雅　さく/え　(福音館書店)　2021 年/1320 円

　言葉遊びが楽しめる絵本の中で、「しりとり」の本は一番多くの種類があるかもしれませんね。一風変わったこんな遊び絵本はいかが？作者は、繊細緻密な美しさと遊びゴコロが同居する『旅の絵本/福音館書店』シリーズ(全 10 冊)で有名な安野光雅さん。驚嘆の頭脳的展開にワクワク。柔らかな水彩画は上品で地味深く、和の風情を堪能できます。
　「はじめのページのなかから　すきなえを　えらんでください　　そのえと　しりとりができるえを　いちまい　めくって　つぎのページから　さがしてください　　さいごのページに　つながったら　〈ん〉　で　おしまいです」…」これが最初の作者メッセージ。最後のメッセージはこうです。「どうでしたか　　さいごのページに　つながらなかったひとは　さいしょのページにつながります　　もどって　つづきを　してください」…ね、おもしろそうでしょう？しりとりができる幼い子どもから大人まで、何度もくりかえして、たくさんのよろこびを共有できることでしょう。(近藤)

●大人のみなさんに。



『絵本と子どもと歩いた日々』
山脇百合子・作　のら書店編集部・編（のら書店）2200 円/2026 年

山脇百合子さんはお姉さまの中川李枝子さんのお話に優しく愛らしい絵を描かれ、姉妹でたくさんの作品を生み出しました。残念なことに、2022 年９月にご逝去されました。私は山脇さんのご自宅にお邪魔してお茶をご馳走になったことがあります。フランス語を学ばれたお話やエゴノキが好きとか、色々お話をしてくださいました。山脇さんの描く動物たち、草花、こども、家の中のカーテンや小物……。ひとつひとつがみんな感じが良くて好きです。このエッセイは、仕事でも私的にも親しくしていたのら書店の編集者が山脇さんが生前語られたり、書かれたりしたことをまとめたものです。山脇さんの絵がたっぷり使われています。「子育てを終えて思うこと」の小見出しから、心に沁みた言葉を紹介します。

〈でもね、いろいろと気を遣いながら子育てをしてるけれど、結局はみんなすくすくとりっぱに育ってるわよね。だから、特別なことをしてあげるより、子どもたちをただかわいがるって、やっぱり大切かもしれない、と思います〉

私も、そう思います。山脇百合子さん、ありがとうございました。（須藤）



●『サルビルサ』
スズキコージ 作　(架空社)1996 年/1650 円(重版未定)

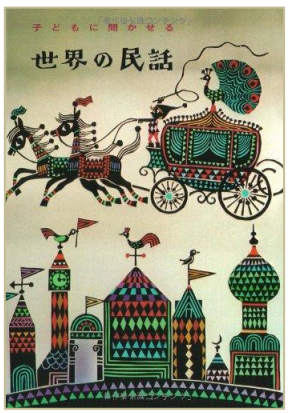
馬に乗った二人の兵士が、一匹の動物を、槍で同時に別方向から仕留めます。獲物をめぐる二人の言葉少ない交渉は簡単に決裂。だって対話することもなく「サルビ」と「ビルサ」って叫びあうだけなんだもの…兵士はそれぞれの国へ戻り、王様(将軍？)に事の顛末を報告します。はたして、この獲物を取り合う二つの国の、戦いの火蓋が切って落とされました…。

上から読んでも下から読んでも「サルビルサ」。タイトルそのものが伏線で、表紙絵からしてなにやら只者ではない雰囲気。絵、ことば(回文が楽しい)、構成と展開のどれをとっても強烈なインパクト。文句なしの力強さが疾走します。子どもから大人まで楽しめる上に、一度読めばきっと忘れられない絵本になるかも。そして年長の読者ほど、ある種の読後感にゾワゾワするかもしれません(←

単純なさわやかさとは真逆の)。こんなタイプの戦争の本が他にあるでしょうか。渾身のスズキコージ・ワールド全開です。(近藤)

●【昔話集２種】

“人類共通の物語”である魅力的な昔話を、子どもにたくさん読み語ってあげてください。と、心からお願いしたいです。生きることにイエス！子どもに「人生への励まし」をプレゼントすることにもなる…といったら、大げさに聞こえちゃうかな？けれどそれほどの力があるのが、時代を越えて語りつがれてきた昔話なのです。なにより親子で楽しいひとときになるし、その独特なおもしろさは子どもをひきつけます。だまされたと思って、ぜひ♪(笑)



①　『子どもに聞かせる　世界の民話』
　　矢崎源九郎　編著(実業之日本社)1988 年/3300 円

世界中の魅力的な昔話が満載。基本的に「昔話」は年齢を問わない特長「内容のおもしろさ」「語りやすさ・聴やすさ」があり、この本も小学校高学年まで楽しめる内容です。

今回は、幼児期に親子で一緒に楽しめるもの(短めで聴きやすくわかりやすいおはなし)をいくつかピックアップしますね。他にも有名な『ローザとバジル(美女と野獣)(クロアチア)』『マルーシカと１２の月(森は生きている)(スロバキア)』なども収められています。興味に合わせてどうぞ。

まずは、★印のこんなおはなしからいかがでしょう。寝る前にひとつずつでも。

★カメのこうらは、ひびだらけ(ブラジル)
★ひなどりとネコ(ミャンマー)
★アナンシと五(カリブ海のジャマイカ島)
★二ひきのよくばり子ぐま(ハンガリー)
★王子さまの耳は、ロバの耳(ポルトガル)
★ねこが、ごはんのあとで顔をあらうわけ(リトアニア)

★ギアッコ少年と豆(イタリア)
★マメ子と魔物(イラン)

② 『子どもに語る昔話』シリーズ （こぐま社）1 冊 1760 円です。



とにかく読み(語り)やすく、聴きやすく、おもしろい！「子どもに語るシリーズ」。
『日本の昔話』をはじめとして『グリム(ドイツ)の昔話』『アジアの昔話』『アイルランドの昔話』『トルコの昔話』『モンゴルの昔話』『北欧の昔話』『ロシアの昔話』『イタリアの昔話』『中国の昔話』『イギリスの昔話』など、豪華絢爛なナインナップ。加えて、アラビアンナイトやアンデルセン童話、日本の神話まで。興味のあるものからどうぞ。大人も楽しいですよ。

◎絵本やおはなしは、子どもにとっては　心のごはん。
　心を豊かに育んでくれるおいしいごはんを、子どもたちに。親の声にのせて耳からたっぷり食べてもらいましょう。(近藤)

（おまけ）
① 『子どもとたのしむ 101 のあそび』　童話館出版編集部 編著　長谷 康イラスト 1998 年/1572 円
② 『子どもと楽しくつきあう　365 のあそび』(重版未定)
　シーラ・エリッソン＆ジュディス・グレイ 作　クロスロード 編

「夏休みは子どもとずっと一緒・・」…保護者の方たちのひそやかなため息が聞こえてきそう。ならばもう、時には腹をくくって？子どもと一緒に遊ぶ時間をおおいに楽しんじゃう♪ことを心からオススメしたいです。じゃあ何をしたらいいのかって？はい、“おもしろがりの達人”の大人たちが作った、こんな本①②をヒントにするのもひとつの手です。それはそうと、今は SNS でもおうち遊びの情報が多いですよね♪わたしも時々お世話になっていて、今は紙飛行機に夢中。心配も多いデジタルコンテンツの利用については、子ども

の「脳疲労」には十分に気をつけながら、上手につきあえるといいですね。





① ふれあい遊び・えかきうた・あやとり・折り紙・シャボン玉などの伝承あそびをはじめとして、音当てごっこ・家にあるもので〇〇遊び・クレープ作り・耳をすませる・1 日をふりかえる、など 101 もの楽しい遊びがたっぷり掲載。(そういえばかつては我が子と本当に作る「おにぎり屋さんごっこ」をよくやったなぁ) これ、楽しそう！というものを優先にしてもいいし、順に遊んでいくのもいいですね。気に入ったら次の日も繰り返せるし、子どもだけで長時間遊ぶこともあるでしょう。←大いに期待したいところ♪

② ①の海外版！①にはない遊びもたくさん載っています。子どものイラストがとても生き生きとして魅力的です。

◎子どもにとって、親が自分のために時間を使って一緒に遊んでくれるのは、自分は大事にされていることを感じる…安心とよろこびの時間になります。また、じっくりと取り組みながら“楽しさ”“快”を伴う、主体的な遊び体験は、少し先・これから先…の複雑な課題に、意欲的に踏み込んでいくと力を育んでくれます。その力とは、ペーパーテストには表れない非認知能力＝感情の自己コントロールや協働性や探求心など、後伸びする力のことです。

これらの概念は、長年の経験則でも大切にされてきており(駒場幼稚園の保育はまさに)、今は先進の発達心理学や感覚統合・脳科学などの視点からも特に肝要だといわれています。

結局、質の良い楽しい遊びというのは(絵本もそうですが)、子どもにとっても大人にとっても魅力的なのだと思わずにはいられません。子どもと一緒に「おもしろがる」という親の・大人の、純粋な気持ちがあればもう、最高です！

親子で楽しい夏休みになりますように。そしてなにより、夏の 1 日の終わりには、保護者自身がホッとできる大人時間も確保できますように。(近藤)

・絵本はざっくりと次のように対象年齢にそって紹介していきます。ただ対象年齢はあくまで目安です。お子さんが興味を示した絵本、お子さんに読んであげたいなと思った絵本を見つけたら、手にとってみてください。

① たんぽぽ組・年少組のみなさんに、②年中・年長組のみなさんに、③大人のみなさんに

・「重版未定」の絵本も積極的に取り上げます。図書館に入っていますし、リクエストが多くなると復刊される可能性もあります。

・紹介した絵本は藤井チズ子前理事長からいただいた寄附金で購入して本の部屋に置いてあります。背表紙の藤色の丸シールが目印です。